

鎌倉交響楽団

1987

ニューイヤーコンサート

指揮：古谷 誠一 司会：永井 邦子



1月25日(日) 2:00PM

鎌倉市中央公民館分館

後援：鎌倉市

プログラム

「こうもり」序曲 ヨハン・シュトラウスII世

ピーターとおおかみ プロコフィエフ

お話：永井邦子

☪ 休 憩 ☪

舞踏への勧誘* ウェーバー

チゴイネルワイゼン* サラサーテ

マリンバ独奏：角田桂子

ワルツ「芸術家の生活」 ヨハン・シュトラウスII世

ラプソディー 外山雄三

(*トヨタミュージックライブラリーより)



●ソリストの御紹介 角田桂子 (マリンバ)

桐朋学園大学打楽器科卒。7歳でマリンバを始め、平岡養一、斎藤健諸氏に師事、打楽器を小林美隆氏に師事。1957年NHK洋楽部門新人オーディションに合格、同年NHK放送よりソリストとしてデビュー、1974年、三石精一氏協演でリサイタルを開き好評を博した。現在ヤマハマリンバ教室講師。



皆様ようこそ鎌響ニューイヤーコンサートにお越し下さいました。
今日は、新春にふさわしく楽しい曲をたくさん御披露したいと思います。

<第1部>

幕開きは華やかな「こうもり」序曲です。ワルツやポルカでおなじみのヨハン・シュトラウスII世の作曲したオペレッタ(喜歌劇)の序曲で、その中の美しいメロディーがちりばめられています。

次は、ロシアの作曲家プロコフィエフの「ピーターとおおかみ」です。子供のための音楽物語と副題にあるように、この曲はモスクワの児童劇場のために作曲されました。ピーター(弦合奏)をはじめ、小鳥(フルート)、あひる(オーボエ)、ねこ(クラリネット)、おじいさん(ファゴット)、獵師(ティンパニ)そしておおかみ(ホルン)と楽しいキャラクターが活躍します。あるさわやかな朝、ピーターは緑の牧場に出てゆきました。おやおや、小鳥とあひるが口げんかをしています。その2羽をねらってねこも登場しました。おじいさんは「森からおおかみが出てきたらどうするのだ」とピーターを家の中に連れもどしてしまいます。そうしているうちに、暗い森の中からほんとうにこわいおおかみが…お話は、永井邦子さんです。

<第2部>

第2部は、もうすっかりおなじみになりましたインスタントコンダクターのコーナーからスタートです。あなたもフルオーケストラの指揮にチャレンジしてみませんか。

続きましては「舞踏への勧誘」です。原曲はウェーバーのピアノ曲ですが、フランスの作曲家ベルリオーズが華麗なオーケストラ曲に仕上げています。舞踏会で、チェロの紳士が貴婦人をワルツに誘います。踊り終わったあとの紳士のお礼とごあいさつもお聴きのがしなく。

ドイツ、フランスから次はスペインに足を伸ばしましょう。サラサーテの「チゴイネルワイゼン」です。「ジプシー風」という意味の題名からもわかるように、躍動的で情熱あふれるジプシーの旋律が朗々と歌われます。ヴァイオリンの名曲として知られていますが、今日はマリンバの独奏(角田桂子さん)でお送りします。一味ちがった味わいをお楽しみ下さい。

さて再びウィーンにもどり、ヨハン・シュトラウスII世のワルツ「芸術家の生活」です。有名な「美しく青きドナウ」が初演されたわずか5日後に発表されました。作曲者の最も円熟した時期の作品で、均整のとれた構成と流麗なメロディーの内にも深い味わいが感じられます。

いよいよプログラムも最後の曲となりました。外山雄三の「ラプソディー」です。指揮者としても活躍中の外山氏ですが、この曲は1960年N響の海外演奏旅行のために作曲されました。曲は日本の民謡を素材として自由に展開され、オーケストラ全奏の「八木節」で締めくくられます。和太鼓、拍子木等の打楽器の活躍にも御注目下さい。

次回演奏会	●5月31日(日) 2:00PM 鎌倉市中央公民館分館
	●ワグナー 「タンホイザー」序曲
	サン=サーンス ヴァイオリン協奏曲 第3番
	ベートーヴェン 交響曲第6番「田園」



街からはじまる、地球のハーモニー。

小さなハーモニー。ひとつひとつが集まって、いつしか大合唱の和となります。

まず、この街の心のつながりを大切に…。みなさまと手をたずさえて

トヨタは、一步一步、素晴らしい未来をめざしてゆきたいと願っています。

あなたの街とともに歩む
TOYOTA